



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社
コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山路 直貴
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 伸二 TEL 075-323-5955
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,531	26.3	1,058	—	1,194	—	608	—
2024年3月期第1四半期	13,884	△10.1	△572	—	△557	—	△477	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,480百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 16百万円 (△97.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	63.63	—
2024年3月期第1四半期	△49.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	94,555	42,109	39.6	3,911.05
2024年3月期	94,537	41,297	38.9	3,839.89

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 37,428百万円 2024年3月期 36,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	45.00	65.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	33,000	13.0	1,500	—	1,400	—	800	—	83.60
通期	70,000	10.9	4,000	92.6	3,900	89.3	2,000	70.2	208.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	10,684,321株	2024年3月期	10,684,321株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,114,393株	2024年3月期	1,114,373株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	9,569,935株	2024年3月期1Q	9,557,771株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本の経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しています。一方で、地政学的リスクの長期化や欧米諸国の金融引き締めによる世界経済の後退が懸念されており、先行きは依然として不透明です。

このような経済状況のもと、市況の回復、ハイエンドサーバ向け電子材料の伸長や需要低迷の底打ちにより、前期の厳しい収益環境から脱却し、前年同期と比較して増収増益の着地となりました。

2024年度は、5カ年中期経営計画「FELIZ 115」の最終年度です。電子・情報、環境・エネルギー、ライフサイエンスの注力分野において、営業提案力と研究開発力を強化し、新規開発を早期に実現して目標値達成をめざします。

当第1四半期連結累計期間の業績としましては、『機能材料』セグメントの光硬化樹脂材料が大幅に伸長したことに加え、『界面活性剤』セグメントや『アメニティ材料』セグメントでの増収により、売上高は175億31百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

損益面につきましては、『機能材料』セグメントを中心として売上高が伸長したことにより、営業利益は10億58百万円（前年同期は5億72百万円の損失）、経常利益は11億94百万円（前年同期は5億57百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8百万円（前年同期は4億77百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、IT・電子用途、ゴム・プラスチック用途は堅調に推移し、石鹸・洗剤用途は大幅に伸長しました。

海外では、ゴム・プラスチック用途、塗料・色材用途は低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は48億86百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

営業利益は、売上高が伸長したことにより、4億18百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途が堅調に推移し、セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途が堅調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは香粧品用途、食品用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は23億6百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

営業利益は、売上高が伸長したことにより、2億21百万円（前年同期は25百万円の損失）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて堅調に推移しました。

公共工事に関連する土木用薬剤は低調に推移しましたが、フロム規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は堅調に推移しました。機能性ウレタンはIT・電子用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は22億28百万円（前年同期比3.6%増）、営業損失は77百万円（前年同期は1億52百万円の損失）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、難燃剤はゴム・プラスチック用途が低調に推移しましたが、水系ウレタンは繊維用途、IT・電子用途が堅調に推移し、光硬化樹脂材料はIT・電子用途が大幅に伸長しました。

海外では、光硬化樹脂材料はIT・電子用途が大幅に伸長し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は65億25百万円（前年同期比64.7%増）となりました。

営業利益は、売上高が大幅に伸長したことにより、7億96百万円（前年同期は3億33百万円の損失）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて堅調に推移しました。

太陽電池用途の導電性ペースト、ディスプレイ用途のイオン液体が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は15億4百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

営業利益は、売上高が堅調に推移したものの研究開発費を中心に営業経費がかさみ、1億29百万円の営業損失（前年同期は36百万円の損失）となりました。

<ライフサイエンス>

ライフサイエンスの売上高は、前年同期と比べ9百万円減少し、79百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

医薬品添加物や天然素材からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康食品等の受託事業は低調に推移しました。

営業利益は、売上高は低調に推移しましたが、営業経費が減少したことにより、1億71百万円の営業損失（前年同期は2億53百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は531億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億36百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が9億76百万円増加したものの、現金及び預金が7億33百万円、商品及び製品などの棚卸資産の合計が4億99百万円減少したことなどによるものです。固定資産は413億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円増加しました。これは主に投資有価証券が4億62百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は945億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は258億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億68百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億48百万円減少したものの、短期借入金が4億31百万円、未払金などのその他（流動負債）が7億37百万円増加したことなどによるものです。固定負債は266億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億62百万円減少しました。これは主に、長期借入金が16億5百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は524億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億94百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は421億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6億8百万円及び剰余金の配当4億30百万円などにより利益剰余金が1億78百万円、その他有価証券評価差額金が3億10百万円、為替換算調整勘定が2億3百万円、非支配株主持分が1億30百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,126	15,392
受取手形及び売掛金	18,299	19,275
電子記録債権	2,364	2,602
商品及び製品	11,029	10,355
仕掛品	20	20
原材料及び貯蔵品	3,091	3,266
前払費用	403	516
その他	2,282	1,751
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	53,614	53,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,583	12,440
機械装置及び運搬具(純額)	5,717	5,632
工具、器具及び備品(純額)	939	1,026
土地	9,948	10,031
リース資産(純額)	2,115	2,028
建設仮勘定	1,162	1,335
有形固定資産合計	32,467	32,495
無形固定資産		
	290	272
投資その他の資産		
投資有価証券	5,641	6,104
長期貸付金	10	10
長期前払費用	346	326
繰延税金資産	127	126
退職給付に係る資産	1,601	1,603
その他	437	438
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,164	8,608
固定資産合計	40,922	41,376
資産合計	94,537	94,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,979	11,630
電子記録債務	562	602
短期借入金	7,847	8,279
リース債務	516	511
未払費用	278	313
未払法人税等	361	379
未払事業所税	41	10
賞与引当金	823	615
その他	2,747	3,484
流動負債合計	25,159	25,827
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	18,950	17,344
リース債務	1,823	1,719
繰延税金負債	880	1,125
退職給付に係る負債	85	84
資産除去債務	74	74
その他	266	269
固定負債合計	28,081	26,618
負債合計	53,240	52,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,266	7,266
利益剰余金	19,851	20,029
自己株式	△2,462	△2,462
株主資本合計	33,551	33,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,670	1,980
為替換算調整勘定	1,073	1,276
退職給付に係る調整累計額	452	441
その他の包括利益累計額合計	3,196	3,699
非支配株主持分	4,549	4,680
純資産合計	41,297	42,109
負債純資産合計	94,537	94,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	13,884	17,531
売上原価	11,583	13,450
売上総利益	2,300	4,081
販売費及び一般管理費	2,872	3,022
営業利益又は営業損失(△)	△572	1,058
営業外収益		
受取利息	1	7
受取配当金	8	5
持分法による投資利益	—	9
受取賃貸料	8	8
為替差益	72	184
その他	21	20
営業外収益合計	113	235
営業外費用		
支払利息	53	61
社債利息	9	9
持分法による投資損失	1	—
その他	34	28
営業外費用合計	99	99
経常利益又は経常損失(△)	△557	1,194
特別損失		
固定資産処分損	19	10
特別損失合計	19	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△577	1,184
法人税、住民税及び事業税	63	199
法人税等調整額	△218	118
法人税等合計	△155	318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422	865
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△477	608

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422	865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332	310
為替換算調整勘定	106	306
退職給付に係る調整額	△8	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	8	9
その他の包括利益合計	438	614
四半期包括利益	16	1,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78	1,111
非支配株主に係る四半期包括利益	95	368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2024年3月22日。以下「改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	772百万円	798百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	ライフサイエンス	合計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
外部顧客への売上高	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	229	△25	△152	△333	△36	△253	△572

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	ライフサイエンス	合計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,886	2,306	2,228	6,525	1,504	79	17,531
外部顧客への売上高	4,886	2,306	2,228	6,525	1,504	79	17,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,886	2,306	2,228	6,525	1,504	79	17,531
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	418	221	△77	796	△129	△171	1,058

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。